

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年1月15日

協議会名： 道南離島航空路線協議会、道北離島航空路線協議会

評価対象事業名： 離島航空路に係る地域公共交通確保維持改善事業(離島航空路運航費補助事業)

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む) |
|--------------|--|---|---------------------|---|---|
| (株)北海道エアシステム | 離島から本島への住民の通院や観光客を主な利用者として、奥尻島～函館間を1日1往復運航。 (R5.4.1～R6.3.31の金日及び5.3、7.15、7.17、9.16、9.18、1.2運休) | 離島住民割引を引き続き実施し、離島住民への需要喚起を行うとともに、パンフレット等を活用し、イベント等でPRするなど、旅行需要の創出に努めたほか、奥尻・函館線利用促進プロジェクトチーム第4回会議において、路線の利用促進事例について情報交換を行った。 | A 計画どおり事業は適切に実施された。 | B 通年運航の目標を達成するとともに、想定していたR5年度旅客数8,407人に対し、R5.4～R5.12の旅客数が9,247人であり、すでに想定を上回っている。また、R5.4～R5.12までの運航計画386回に対して、368回運航。 (天候事由による欠航14回、機材故障等による欠航4回) | 過疎化・高齢化の進行等により今後航空需要の減少が見込まれることから路線維持対策が必要。収益改善のための営業費用の見直し等費用削減をはじめ、離島住民への需要喚起や道内外からの旅行需要の創出に努める。 ※平成29年4月から特定有人国境離島地域社会維持推進交付金による運賃低廉化を実施している。 |
| | 離島から本島への住民の通院や観光客を主な利用者として、利尻島～丘珠間を1日1～2往復運航。 (R5.4.1～4.22の金日、R5.4.23～10.28の金土日、5.3～4、7.17、8.14～16、9.18、10.9は1日2往復運航) | 離島住民割引を引き続き実施し、離島住民への需要喚起を行うとともに、地元地域とHACが連携したキャンペーンの実施やパンフレット等によりPRを行うなど、旅行需要の創出に努めた。 | A 計画どおり事業は適切に実施された。 | B 通年運航の目標を達成し、想定していたR5年度旅客数28,381人に対し、R5.4～R5.12の旅客数が24,837人と、想定と大きく乖離しない見込み。また、R5.4～R5.12までの運航計画740回に対して、700回運航。 (天候事由による欠航30回、機材故障等による欠航10回) | 過疎化・高齢化の進行により、今後航空需要の減少が見込まれることから、引き続き路線維持対策が必要。更なる航空路線の利用促進のため、離島住民への需要喚起や道内外からの旅行需要の創出に努める。 ※平成29年4月から特定有人国境離島地域社会維持推進交付金による運賃低廉化を実施している。 |